

歴史的公文書から見るさがみはらの歴史
公文書館KOBORE話

「公文書館KOBOR E話」は、公文書館が所蔵する歴史的公文書から1冊を取り上げ、その公文書が作成された時代背景や関わる出来事などをわかりやすく解説します。

これまでに開催した『公文書館KOBOREE話』(録画)が公文書館内でご覧いただけます。
希望される方は、公文書館受付にお申し出ください。予約は不要です。
なお、申し出等が重複した場合は調整させていただくことがあります。

令和3年度の開催

第1回 『相原村の電気事情1』

(令和3年7月21日開催)

昭和40年、駒橋発電所が竣工し、さらに明治45年には谷ツ沢（現：上野原市）に発電所を設け、発電を開始します。

この谷ツ沢発電所から淀橋変電所に至る送電線の一部が相原村を通ることになります。



第2回 『相原村の電気事情』 2

(令和3年9月15日開催)

明治45年、相原村で電灯設置の要望が出てきます。相原村では前年まで電線設置で関係の深い東京電灯(株)に照会しますが、回答がもらえずに。そこで村では、村議会で交渉委員を選任し、交渉に臨みますが



第3回 『昭和15年の税制改革』

(令和3年10月20日開催)

昭和15年に行われた税制改正で、町村に独立税として町村民税や自転車税などの課税権が認められたことはあまり知られていません。この時認められた独立税には、「扇風機税」や「犬税」などの今はない税目もありました。



第4回 『アンゴラ兔の飼育』

(令和3年11月17日開催)

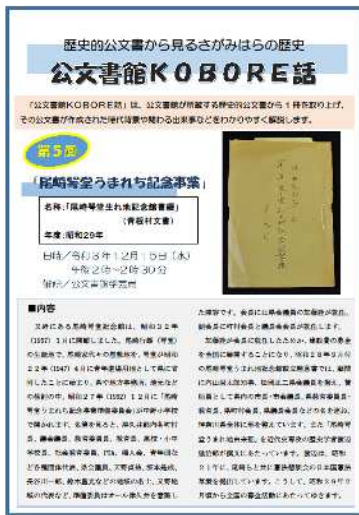
戦争中、子どももできる副業として兎の飼育が奨励されたという話が典拠不明でありました。兎飼育に関わる資料はあまり残っていませんが、飼育する兎がアンゴラ兎へ移り変わっていく市内で行われていた養兎事業。



第5回『尾崎号堂うまれち記念事業』

(令和3年12月15日開催)

緑区又野にある尾崎弔堂記念館は、昭和32年に開館しました。弔堂が11歳まで過ごした生誕地に計画された尾崎弔堂記念館建設に向けた募金活動は、市域から県域を超え、全国の募金活動に展開していきま



第6回 『相原村の神社合祀』

(令和4年1月19日開催)

相原村の神社合祀は、明治41年に就任した相澤村長の下で進められましたが、相原八幡宮の氏子が難色を示し、賛成派と反対派に分かれ、氏子同士が訴訟・陳情合戦を行うこととなります。そして、その結末はいかに。



第7回 『二つの薬師堂～仏堂をめぐる事例』

(令和4年2月16日開催)

神社だけでなく、薬師堂（仏堂）の合併も進められました。網上薬師堂（中央区田名）と下磯部薬師堂（南区磯部）では、30年余の時を経て、「合併」と「再建」といった異なる結末（取扱い）を迎えることになりました。



第8回『大野村長の決断と神社合祀のまとめ』

(令和4年3月16日開催)

新しい村での1村1社の動きは民衆からの反発が大きく、うまくいきません。そんな機微を巧く捉え、「合併見込み無し」として意見具申した大野村長の決断。そのほかの村の取組など相模原市域の神社合祀をまとめます。

